

鶴見あけぼの保育だより 10月号

秋晴れの空にキンモクセイの香り漂う心地良い季節です。
十月に入り"さんままつり"を楽しんだり、十三夜のお月見の取り組みをしたり、爽やかな秋を満喫しています。

運動会に向けても日を遡うごとに力が入ってきていて、ホールでの練習や鶴見小学校体育館での練習では、のびのび、いきいきと張り切り楽しんでいる子ども達の姿があります。当社はもちろん過程も、楽しみです。

まだ暑い日もあり、水分補給は欠かせませんし、朝夕肌寒い日もありますので、衣服の調整をしたり体調管理を心がけましょう。

平和な社会であることを求めて

九月の誕生日会では、職員と年中・年長の子ども達で"ぞうれっしゃがやってきた"の構成劇と歌を披露しました。(一部です)

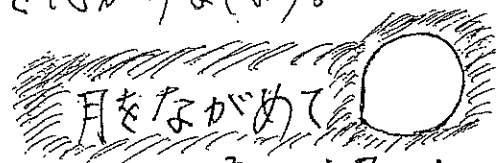
かつての日本で戦争により食糧難となり動物達が殺され、一頭だけ残った名古屋の動物園の象を見に行こうと子ども達を乗せた"ぞうれっしゃ"が走ったという実話をもとに作られたものです。

今、ウクライナやパレスチナ等への攻撃で多くの尊い命が犠牲になっていること、家族がバラバラになっていることを目にする日々。園で職員や子ども達とこの"ぞうれっしゃがやってきた"を歌うことは大きな意味があると思いました。

そして、ノーベル平和賞を日本被団協が受賞されたことも、長い間の積み重ねと努力の賜物であり、大転換期にあるのではないかと思います。

日々、いきいきとあそび、生活をしている輝く瞳の子ども達。そして懸命に前向きに頑張っている大人達。

当り前が当り前であるために、社会が平和であることを望みます。

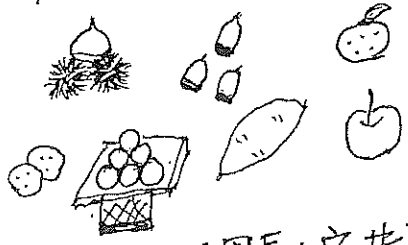
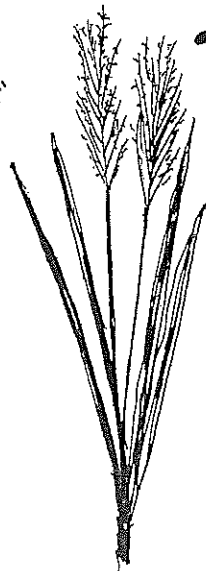


九月の十五夜、十月の十三夜。澄んだ空に浮かぶ月を皆さんは眺めましたか？園では十三夜のお月見会で皆でお団ご作りをして、お供えし、ゆでたてのお団ごを食べた後、あんじからめた、"みたらしだんご"を食べました。

会の始めに、中根保育士が歌を紹介し、お月見の話をしてくださいました。誰もが知っている歌かな？とは思いますが、あまり歌う機会がないかと思うので紹介します。

♪うさぎ うさぎ♪

うさぎ うさぎ
なにみて はねる
じゅうごや(じゅうごんや)
おつきさま
みて はねる



(園長: 穴井)